

大規模・複雑化した建築物等における効果的な防火・防災安全対策
の確保に関する調査報告書
骨子（案）

第 1 章 検討の趣旨及び経過

- 1 現状と課題
- 2 検討の経過

第 2 章 検討の結果

- 1 調査対象
- 2 建築物等が巨大な規模となっていることについて
 - (1) 自衛消防活動関係
 - ア 防災センターに必要な機能、レイアウト等
 - イ 非常用エレベーター、消防隊進入経路、特別避難階段等消防活動上必要な施設の配置
 - ウ 自衛消防活動における消防隊との連携や円滑な災害対応を行うために必要な訓練及び教育のあり方
 - (2) 評価手法関係
 - ア 規制の適用単位の基本的な考え方
 - イ 極めて大規模な建築物等における避難・警報の基本的な考え方や非常放送の鳴動区分
- 3 防火対策の関係者が極めて多数にわたることに係る検討課題
 - (1) 多数のテナント等が常に変化し続ける状況において効果的な防火安全対策を確保する方策のあり方
 - (2) 共同で防火管理を行うために効果的な組織体制及びその確保方策のあり方
 - ア 多種多様な所有・管理形態に応じ、適切な管理を実施していくための組織体制のあり方
 - イ 複数の管理者が協力して適切に管理を行っていくための組織体制のあり方
 - (3) 防犯セキュリティ対策との関係のあり方
- 4 個別の具体的な対策に係る検討課題
 - (1) 効果的な自衛消防体制を確保する方策のあり方
 - ア 本部隊・地区隊が全体として効果的に自衛消防組織の活動を行っていくための

組織体制、緊急時の指揮命令等、消防訓練等のあり方

イ 自衛消防組織の構成員についてその役割に応じた必要な練度を確保するための
方策（資格、教育、訓練等）について検討

(2) 大規模建築物等における避難対策の基本的な考え方

ア 極めて高層の場合の避難の基本的な考え方

イ 自力避難困難者に対する避難誘導の基本的な考え方

5 その他

(1) 地震防災・NBC災害対策との関係のあり方

第3章 まとめ

東日本大震災の発災時における建築物の防災管理に係る運用実態に係る調査報告書
骨子（案）

第1 背景・目的

第2 調査項目等

第3 東日本大震災の概要

第4 調査の実施結果

1 アンケート調査の結果

2 ヒアリング調査の結果

3 震災時における活動状況（時系列）

第5 まとめ